



阿久根市の人口  
住民基本台帳人口と世帯数

(6月1日現在)	
人口	29,737 (-41)
男	13,858 (-18)
女	15,879 (-23)
世帯数	9,686 (-16)



守り、引き継ぎたい阿久根の宝  
阿久根大島の松林

日本の名松一〇〇選に

年輪を刻む阿久根大島の松

「二十一世紀へ引き継ぎたい、日本の名松一〇〇選」の二つ、阿久根大島の松林が選ばれました。これは「日本の松の緑を守る会」が、全国各地の名松、松林のうちから百カ所を選んだもので、県下では吹上浜の松林と阿久根大島の松林だけです。

大島の松は、平均樹齢八十年から九十年。なかには、三百年近い老松もあり、数にして大きいだけで二千八百本余り。

最近、松くい虫の防除もいまどと異、被害にあつ松もなくなりました。

思い出を刻んだ、ふるさと阿久根大島の松にスポットをあててみました。(四・五頁に特集記事)

6月号



艇庫の西側に青年の家は建設されます

# 「青年の家」近日中に着工

## 完成は年内(12月中)

### 約百二十坪、いろいろの部屋も

市内の青少年から「いつでも気軽に使えて、思い切り話し合える研修の館の建設を」、の要望に応え、阿久根市では、五十八年度当初予算に「青年の家」の建設費を盛り込みましたが、いよいよ、近日中に着工の運びとなり、若者が永年待ち望んでいた「自分たちの館」が実現します。

建設場所は戸柱の五色浜の埋立地内で、すでに設計も終り、関係の手続きが整い次第、早ければ七月上旬には工事に着工します。

市内の青少年から「いつでも気軽に使えて、思い切り話し合える研修の館の建設を」、の要望に応え、阿久根市では、五十八年度当初予算に「青年の家」の建設費を盛り込みましたが、いよいよ、近日中に着工の運びとなり、若者が永年待ち望んでいた「自分たちの館」が実現します。

これまでに、青年団体の会議には、中央公民館等が利用されていましたが、利用時間などが制限され、利用について悩みがありました。市では、昭和五十三年老人福祉センター、昭和五十六年に働く婦人の家を建設、お年寄りと婦人の方々に研修の場所を提供、青少年の研修会館が築かれていました。この青年の家、年内(12月中)の完成を目指します。

### 稚ウニ放流

#### 三年目

20万個 西目、

佐潟、黒之浜に

三年目を迎えた稚ウニの放流が五月十一日行われ、西目、佐潟、黒之浜に合計二十万個を放流しました。

垂水の栽培漁業センターから、水槽に入れ、トラックで陸送された稚ウニは直経五、から一センチの、すし用の赤ウニの稚ウニ。西目、佐潟に五万個ずつ、黒之浜に十萬個配布しました。

このうち、西目では漁民十五人が出て、高之口港入口の左側の海岸に運び、十センチ沖合、水深二メートルの岩底の岩場に放しました。

阿久根市では、昭和五十六年度

から「ウニの豊産」を目指し、パイロット事業で、毎年二十万個の稚ウニを西目、佐潟、黒之浜の海域に放流を続けています。

稚ウニの成育の状況は、毎月一回市の水産課と県の水産改良普及所で実施していますが、これまでの調べで、昭和五十六年度に放流した稚ウニが五、から八センチに成長しているのが確認され、今年の八月に第一回目の収穫をします。

稚ウニの試験的放流は、今回で終わりますが、市の水産課では一來年度以降の放流については、収穫するウニの成育状況を見て決めたが、市が各漁船に補助金を出し、事業として実施するか、今後検討してみたい」と話しており、秋の収穫に期待したいところです。

### 誕生

おめでとー



出生児	保護者	氏名
飯田真理子	雅才(山馬場)	
橋手 芳信	克美(橋手)	
海平 友香	岩男(海平)	
牧野 正吾	正業(尻無中)	
宮原 勇太	善美(新町)	
新町 昭久	利昭(新町)	
西園 千秋	秋徳(新町)	
福田 理恵	興詞男(佐潟)	
猿楽 真伍	秀人(佐潟)	
早瀬 翼	紀年(段)	
丸子沙耶香	英男(潟)	
新蔵 勇介	正人(新町)	
津田 泉	惣吉(脇馬場)	
福浦 和紀	太市(黒之浜)	
黒坂 佳葉	友昭(大谷)	
柏木 愛	優子(筒田)	
野田麻里絵	実雄(黒之浜)	

### 青少年育成

#### 「父親土曜

#### セミナー」開催!

#### 阿久根市が

#### 出水地区で第一声!

お父さんの出番を

お待ちしております

お申し込みは、市社会教育課まで



黒之上の現場  
を点検する川  
畑市長ら一行

# つゆに入り防災点検

## 新田地区など入念にチェック

大雨の降る季節を迎えました。梅雨入り後の六月四日、阿久根市の災害危険箇所点検が行われ、地すべり被害の発生が予想される黒之上の急傾斜地など六カ所を見て回り、点

検後は、各危険箇所ごとに今後の防災対策を決めました。点検には、市から川畑市長、新田地区、川辺収入役、関係課長が、県から出水土木、出水農林の職員、それに警察、消防など二十人が参加しました。

まず、黒之上の地面のひび割れの現場を視察。ここは昨年八月、台風時の大雨により、地面に多くのひび割れが生じ、地すべりの危険が出たところで、ひび割れの状況など入念に点検。新田地区ではたん水防除事業の計画や、大雨時による市道（宮崎神社前）の通学禁止体制など検討。内田の奥園たぬ池では、一部壊れた堤防を点検。また、大雨などによる川のはらんで住宅や道路、鉄道が浸水する阿久根駅裏や阿久根中学校周辺を見て回りました。

点検のあと、各力所について今後の防災計画を検討。黒之上地区の地すべりについては、ひび割れを目づめて補修するとともに、窪地からの水の浸透を防ぎ、今後もしひび割れの状況について観測を続ける。新田地区は、樋門や水城周辺のゴミや木ぎれの除去。雨量による通行禁止の徹底など、奥園たぬ池については、水を調整し、現在の土の上をビニールシートで覆う。

阿久根駅裏については、畜糞の除去、暗きよのさらえをし、水の流れをよくする。また、中学校周辺は鶴見川につなぐ水路の建設が必要。などを決め、大雨などの被害の発生を未然に防止することになっています。



警察 110番  
消防 119番



### いよいよ梅雨!! 大雨災害に万全の注意を

いよいよ梅雨の時期になりました。この時期には、県内でもがけ崩れや、河川のはん藍などによる災害が発生し、多くの犠牲者をだしています。

め、各家庭では次のことに気をつけましょう。  
▼大雨になったら気象情報に注意しましょう。  
テレビ、ラジオ新聞等の気象情報に注意しましょう。

阿久根市も、シラス土壌に覆われているうえ、山の斜面やがけ下、がけ上に建てられた住宅もあり、集中的な豪雨が降ると、大きな災害の起こる危険性があります。

▼家の周囲に変わったことがないか気をつける。  
長雨のときは、日常と変わった地割れやわき水がないか気をつけましょう。  
▼避難は早めに

これまで危険地帯でなかったところが大きな災害にあつていいます。がけ下や低い土地に住んでいる人は早めに避難しましょう。  
▼避難の指示を守りましょう。  
市、警察、消防署などがたす避難指示は必ず守りましょう。  
▼子どもの通学路や遊び場所に注意する。  
大雨や長雨のときは、小さな川や溝でも水かさが増し、流れが急になったりして危険です。子どもの通学路、遊び場には大人がじゅうぶん注意しましょう。

# 青々と2,800本 200年の老松も

に、島全体は緑がうっそうとおお  
い、そのほとんどが松。

島の中央には砂浜が続き、松林  
の中を野生シカが思いのままたわ  
むれ、海水浴場、キャンプ場とし  
て九州一円に知られる阿久根大島。

天保十四年（一八四四）、今から  
百四十年前発行された三國名勝図  
絵では、大島について「雄島・雌  
島・子島の三ありて隣接す。因て、  
併せて母子島と称を得たり、其大  
なる者を雄島という、俗に大島と  
呼び、周田一里許（ばかり）、松  
樹多し……此、母子島海上の風  
景佳絶にして、当風名勝の境なり  
……」と紹介され、当時、薩摩の  
国でも最も風光明媚な所として知  
れていました。

## 雄大な

### 松のながめ

明治四十五年には保安林に編入。  
大正四年には公園地の計画が具体



なつかしい昔の阿久根大島

化。昭和十年鉄道通車によってキャ  
ンプ村が開設。昭和二十八年には、  
大島をふくめ、松の美しい阿久根  
の海岸が県立公園にも指定されま  
した。

松については、自然に生えたも  
のがほとんどで、松枯れで被害が  
出た、昭和四十三年に市が約三万  
本の松を植栽しています。

# 皇居の松とともに日本の名松

「日本の松の緑を守る  
会」が一〇〇選した全国の松の  
主なものでは、松島、天の橋立、  
皇居外苑、石川県の兼六園、奈  
良公園、栃木県の日光の姫小松

九州では虹の松原など有名な松の  
名所、名勝地ばかり、このなかで、  
阿久根大島の松林も選ばれたこと  
は、阿久根市民の私たちにとって  
非常にうれしく、また名譽であり

ます。  
私たちの暮らしと深いかわり  
をもつ、大島の松について、そ  
の歴史や種類、松の保存につい  
て焦点をあててみました。

大島には、現在二千八百本余り  
（樹齢八十年以上の松）の松が生  
えており、すべて黒松。島の中央  
付近と北側には平均して直径六十  
センチ、樹回り二メートル、高さ二十メートルの立  
派な松が天に向かって生えていま  
す。曲りくねった松や枝を海につ  
き出したものなども見られ、永い  
年月を感じさせます。

昭和三十七年から四十五年にか  
け、全国的に発生した松枯れによ  
り、大島でも大量の松が被害を受  
けました。

## 松枯れ防止に 市でも懸命の努力

この当時は、松枯れの原因マツ  
ノザイセンチュウが発見されてお  
らず、防除も手探り、このため樹  
齢を重ねた大きな松が、この被害  
にあい、次々と切りたおされたの  
です。一時は「松はダメだ」と、  
他の木に転換したところもありま

遊歩道に添って五百本のすばらし  
い松のトンネルができています。  
戦前は、島の中央に直径約二十  
メートルの小さな池があり、松の影が映  
り、なんとも言えぬ風情があった  
そう。今はその面影はありませ  
ん。

天明七年（一七八七）、時の藩主  
島津重豪が「海上安全の神」、金  
刀比羅神社をうつしかえ松林の中  
に立て、阿久根近海を風から守り、  
大漁と海の安全を見守っています。

保安林として、また名勝地とし  
て役割の大きな大島の松林ですが  
昔は、まだまだ多くの松が生えて  
いました。資料によると、最盛時  
には六千本の松が全島をおい茂っ  
ていました。



立派な松がはえる阿久根大島

した。

しかし、市では、市民の財産である大島の松を守るため、あらゆる手を尽くし、地上からの薬剤の散布や、抜こう駆除に立ちあがり、昭和四十七年から諸条件を克服、空中散布を導入、一年で多い時は五百本近い松の被害を大幅に少な

く押えることに成功。ついに、五十四年と五十五年は一本の被害も出さずにすみました。そして今、約半分に減りましたが、昨年で約二千八百七十本の松が青々とおい茂っています。

市では、毎年、松を守るため懸命の努力を続けているのです。

## 美しい松を

### 子や孫に引き継ごう

梅・竹とならび、私たちに愛され親しまれた松。小松原の松林、縮本海水浴場の松、西目の海岸から大川へすさまじく生えていた松、

今はありません。私たちの祖先が大事に育て、引き継いできた、緑の宝物。

私たちは、この大切な大きな遺産を子や孫に引き継いでいく義務を持っています。

この「日本の松の緑を守る会」での決定は、松の保護のうえから絶対の機会です。市では「松くい虫の防除に全力を尽くす」とともに保育事業で小さな松の植栽も続け、大島の松を守る」と話しており、また、観光の面からもシカと松を組み合わせた新しい企画もできそうです。

さいわい、大島を見てみれば小松がだいぶ大きく成長してしましました。

近い将来、昔のように全島が立派な松の緑でおおわれるのも夢ではなさそうです。



天まで伸びる松

## 雨ごいの松

むかし山下に大同寺というお寺があり、このお寺には宝物として大事にしている、竜の松の掛物がありました。

日照りが続き田圃の水がなくなると、村の人々は心配し、佐瀨の龍の崎（佐瀨鼻）に集まり、大同寺の竜の松を借りて行き、雨ごいのお祈りをしました。今でも佐瀨鼻に雲がかかれば龍雨といわれます。大同寺がなくなってからは、天

高宮（渡田の菅原神社）におこもりして、お祈りをするようになり、一日目で雨が降らないときは、二日目は遠見ヶ岡に登り神に祈りました。それでもききめがないときは、三日目はうっ蓋としておもむきのある松が繁茂している勝景の地、大島に船を任立てて渡り、みんな裸になって山王様と呼ばれる大山を命を祭ってある日枝神社に祈りました。

高く秀でた老松は黒松で、サガリ松、クダリ松と呼ばれた天にも届く勢で、雨ごいときはその下で

## 日本の松の緑を守る会

松の緑を守るため、松くい虫の防除と松に関係した文化の向上を目的に五十四年七月つぐられ、福山嘉寛経団連会長を会長に、森林関係の学者、医学者、研究家など参加。全国の松の保護運動を続けている会。今回朝日新聞社と森林文化協会が公募、選定して「日本の名松一〇〇選」を決めた。

お祈ります。

大木の葉を切って「山王様にさらばひやせ」「山王様にさらばひやせ」と唱えながら、松の木の下を叩きながら七回ほど廻り、松の天辺を見上げて待っていると、いつしか暗くなり桑島にいとわられる竜が雲を呼び、松の木をおおい雨が降りまへ枝や葉を繁らすといわれまが、大島の松は天の神へ向いて高くそびえているのだといわれています。

# 昭和57年度 総合表彰式

## 塩福さんら特別表彰

### 納税、各部門功労者も

昭和五十七年度阿久根市総合表彰式は、五月十九日阿久根市民会館ホールで行われ、受賞関係者一百二十人が出席。納税功労者や区長永年勤続、農林水産業功労者など個人百二十人、百五の団体を表彰。また、塩福岩雄さん、故郷多田城さん、平萬洋さん、阿久根青年会議所を特別市民表彰しました。

総合表彰式では、川畑市長が「郷土阿久根市もすばらしい発展を続け、平和で豊かな地域づくりが着々と進められています。これから、このような全市民的な努力の



総合表彰式のあった市民会館ホール

臨にあって、地域社会の発展と福祉の向上のための献身的で惜みない活動が続けられ、指導的役割を果たしてこられた方々の功績も忘れてはならないと存じます。

本日は、このような意味におきまして、それぞれ各部門でご活躍をいただきました方々の表彰をたたくえますとともに、今後も郷土の発展のためよき指導者として、ご協力くださるようお願い申し上げます」とあいさつ、表彰に入りました。

阿久根市勢発展のため、永年にわたり社会に貢献された方を表彰する特別市民表彰では社会福祉部門で塩福岩雄さん、教育文化部門で故郷多田城さんを表彰。一般行政部門で平萬洋さんと阿久根青年会議所にも表彰状が贈られました。

引き続き、区長永年勤続十年で倉津武三さんと石沢正徳さん。五年以上退職で早水純雄さんら三人を表彰しました。

部門では、身体障害者の身でありながら、市内の身体障害者の方々の相談相手や指導にご尽力くださった小野誠一さんにも感謝状が贈られました。(敬称略)

- 特別市民表彰
- 社会福祉部門 塩福 岩雄
- 教育文化部門 故郷多田城
- 一般行政部門 平 萬洋
- 阿久根青年会議所

- 区長永年勤続
- 十年勤続 倉津 武三
- 石沢 正徳
- 勤続五年以上で退職
- 早水 純雄
- 黒崎 兼弘
- 盛水 義行

表彰を受けた各部門の代表者



### 納税功労者表彰

( ) は納期限内  
完納一等優良団体の区としても表彰

- 東啓造(高松) 中村ミチ子(東牧内) 大田実隆(大林) 水田早苗(永田上) 池崎厚雄(丸内) 溝上辰夫(内田) 米次政則(米次)
- 中原実雄(尾原) 本光男(田代中) 鶴田末弘(木佐木野) 高原茂(長谷) 児玉末広(上桑原城) 上鶴元務(下桑原城) 中原義信(宮原)
- 中村茂(横手) 羽田義成(荻野) 上野齊造(羽田) 小原庄千男(飛松) 馬見塚四男(大川島) 馬見塚秀雄(馬見塚) 落良久(落) 川畑富藏(本之牟礼) 神之田与藤雄(仲仁田) 奥平勇市(川畑中) 奥平武夫(中屋敷) 花木二男(的場) 寺地一(尻無上) 若松大吉(尻無中) 寺地力(尻無下) 迫田時雄(筒田) 松下三千年(桐野下) 松崎義幸(大洲川) 石沢光男(瀬之浦上) 平末弘(瀬之浦下) 川俣正雄(楊之浦西) 笠井政江(聖園老人村) 内山陽子(特老桜ヶ丘荘) 吉藤洋三(蓮の実園) 脇之園忠夫(愛和園) 小園要(町納税) 黒水勉(市役所納税) 平石正美(三笠町農協) 野崎兼(福本郵便局) 野村カツエ(野村水産) 藤上休作(久丸納税)

# 特別市民表彰者の横顔

## ▽社会福祉部門

塩福岩雄さん(六五)牧内

昭和二十二年国立療養所阿久根病院の医師として勤務、二十六年所長に就任以来、三十六年の永きにわたり、地域医療と市民の健康保持、保健衛生思想の啓発、向上に尽力され、また、同病院の施設整備にご尽力いただきました。



塩福岩雄さん

## ▽教育文化部門

故喜多哲城さん

昭和十三年喜多病院を開業。地域医療に専念するかたわら、市内小中学校の学校医として児童生徒の健康の保持増進に努めるとともに、十六年間の長きにわたり教育委員として、学校施設の改善など教育全般にご尽力いただきました。

## ▽一般篤行部門

平萬年さん(六三)橋之浦東

二十数年余り、教職員として奉職され、退職後は地域の子ども会育成に献身的な活動を続け、とくに「親と子のふれ合い事業」「朝よみ夕よみ運動」など積極的な事業を推進、明るい環境づくりにご尽力いただきました。



平萬年さん

## 阿久根青年会議所

(小園康二理事長)

昭和五十六年四月、青年会議所を設立以来、明るく豊かな地域社会の建設をテーマに各種のイベントを企画、実行し、とくに高松川清掃クリーン作業を毎年実施中。また、昨年は会議所発足を記念して市に消防工作車を寄贈しました。

## 各部門表彰

### 農林部門

▽優良小組合

桑原城上、有田、桐野下、深田

▽優良機能集団

阿久根市農業経営者クラブ、三笠町農協肉豚共同肥

育部会、農事組合法人阿久根畜産、黒之上園芸振興会、尾原竹林振興会

▽農政協力者

早水純雄、黒崎兼弘、野村フイノ、大尾弘、井坂一市、村末崇、堂後俊夫、宇和清任、迫田貢、迫田福松、尾崎篤雄、小滝栄、落友治、坂上園光

▽優良農林業者

馬見新徳男、山平勝、別府国盛、京田藤雄、西牟田学、谷口富幸、庵誠一、堂俊忠、中内田次男、野崎一拾、簡豊志、池崎綱義、川崎武志、石原透、山平正治、慶越真弘、上野義春、京田勝、藤康寛、川俣イヅ子、松元哲雄

▽農業後継者

宮路政司

### 水産商工観光部門

▽水産業功労者

巻木鈴子、前田清吉、松水矢四郎、倉津栄三、鬼塚広吉、宮沢ナツミ、福田重剛、嶺榮典、川畑太郎、若松光仁、川本光義、尻無浜七次郎、中原実雄

▽商工業貢献者

榑福崎印刷所、松水幸治、倉津留幸、大丸通り会、松嶋商店、玩具センターたなか、餅大和阿久根店、日本生命阿久根支部、本町通り会

▽優良従業員

尾塚久夫、谷口栄、宮園ソノエ、田淵良二、早水実、古賀政男、落宣一、杉山始、落良久、落利成、江上フサ子、石原康之、上園信也、高原又三、早瀬利春、久保福義、根比義治、牧内節子

▽観光事業貢献者

濱田啓男

### 福祉部門

▽民生関係

倉津武三

▽老人福祉関係

三反田清次郎

▽精神者福祉関係

松本幹夫

▽身体障害者福祉関係

小野誠一

### 教育部門

▽社会体育関係

大川小剣道又スポーツ少年団

### ▽二等表彰区(年度末完納)

遠見ケ岡、倉津、折口東、水田下、陣之尾、大下、田代下、弓木野、佐海、栢、牛之浜、脇本馬場、脇本浜、桐野上、大谷、黒之上、松ケ根、大丸納税、港橋通り会納税

▽三等表彰区(年度末九五%以上完納)

浜、上野、新町、渡留、海、大尾、浦、牟田、袴、遠矢、山下馬場、尾崎、高之口、下村、古里、楊之浦東、深田、大滝、小鹿、八郷、中央通り会納税

### 国民年金表彰者

高瀬岩藏、羽田義成、早水純雄、石沢正徳、倉津武三

### ◎たばこ販売功労者

大石マツエ、横手光造

### ◎優良貯蓄団体

新町婦人会、折多小学校子供貯金、脇本小学校子供組合



### 消防ミニニュース

(-)は一月から五月

五月の火災発生数 0(6)

救急車出動回数 48(259)

# 変わっています 参議院の選挙

## 6月26日 …… 投票日



全国区



地方区

### 全国区は政党、個人名は地方区

金のかからない選挙を実現するため参議院全国区制が改正され、わが国初めての比例代表制が導入されました。

その一回目の参議院選挙が六月三日に告示、六月二十六日に投票が行われますが、初めて全国区に取り入れられた、比例代表制。内容を理解して、大切な一票を投じましょう。

#### 個人本位の選挙から 政党本位の選挙へ

これまで参議院全国区は、広大な選挙区で、有権者にとっては、候補者の選びが困難でした。また候補者にとっても膨大な経費を要

するなど弊害がありましたので、従来の個人の候補者を中心となつてする選挙を改め、政党が中心となつてする比例代表制の選挙となりました。

#### 政党の選択は候補者 名簿や政策を見て

立候補は政党（政治団体）が候補者名簿を提出して行いますので、個人による立候補は認められていません。また、候補者名簿に誰をどのような順位のせるかは、各政党が決定します。

#### 投票は政党名で

投票用紙（白色）には、政党の名前、または、略称を記入しなければなりません。

▽個人の氏名を書くは無効となります。

#### 当選人は各政党で

まず、各政党の得票数に比例して、各政党に配分され当選人の数を決めます。次に各政党に配分された当選人の数まで、各政党ごとに候補者名簿に記載された順位によって当選人を決めます。

#### 地方区は「選挙区 選出議員の選挙」

投票は個人名で

地方区は、名称が「選挙区選出議員の選挙」と変わりましたが、これまでの地方区の選挙方法と変わらず、投票用紙（薄黄色）には個人名を記入します。

#### 投票日

六月二十六日（日）

投票できる人

今回の参議院選挙で、阿久根市で投票できる人は、昭和三十八年六月二十七日以前に生まれた人で、

#### 不在者投票

昭和五十八年三月一日までに転入届けを出して市民になった人で、六月三日から六月二十五日まで、市選挙管理委員会において、毎日午前八時三十分から午後五時まで、投票できます（印鑑をご持参ください）

#### 投票時間

二十六日の午前七時から午後六時まで、ただし田代小、本之牟礼単人小は午後五時までです。

#### 医療事務関係

七十歳以上及びねたきり老人等の医療費受給者証、健康手帳の発行などは保険係内線431へ

#### 医療以外の保健事業

四十歳以上、六十九歳までの健康手帳等の発行及び、一般健康診査、健康相談、健康教育などについては保健センター（手防係）

直通③3768へ

※老人福祉法に関する事、老人クラブ等についての事は、従来どおり福祉事務所が行っています。

## 老人保健法(保健手帳の発行など) の仕事は保険衛生課で

六月一日  
から  
実施中

今年二月一日から施行された老人保健法関係の仕事は、これまで福祉事務所の老人障害係が担当していましたが、事務の簡素化を図るため、六月一日から保険衛生課で業務を行っています。





## 新町さんら二十人を委嘱 市政全般に意見、要望

三  
夕  
一  
会  
議

わかりやすい文章で「農業振興  
発展に基盤整備を」「学校給食に

さかなを取り入れて」「テレビの  
難視聴地区の解消を」「下水道の  
整備を」など、多くの意見、要望  
が出され、新町助役が一つ一つに  
回答しました。  
市では、出された要望等につい  
てできるものから解決していくこ  
とにしています。



要望が多く出された  
モニター会議

市政モニター会議が六月四日、  
市役所で行われ、モニター十九人  
が出席、委嘱状の交付や市政全般  
について意見、要望が出ました。  
モニター会議では、まず、委嘱  
状が代表の新町茂さんに交付され  
たあと、川畑市長が「一年間より  
よい市政づくりにご意見、ご要望  
をどんどん出して下さい」と協  
力をお願い。さっそく意見交換に  
入りました。  
モニターからは「教職員住宅の  
建設を」「市役所から出す公文は

### 市政モニター

氏名	区	氏名	区
新町 茂	新高本大	松島 幸	中之田
村崎 善	遠藤 基	飛佐 本	牛久保
中岩 益	赤松 元	藤塚 畑	田水 路
赤松 元	藤塚 畑	齊尾 川	花松 福
赤松 元	藤塚 畑	齊尾 川	花松 福
赤松 元	藤塚 畑	齊尾 川	花松 福
赤松 元	藤塚 畑	齊尾 川	花松 福
赤松 元	藤塚 畑	齊尾 川	花松 福
赤松 元	藤塚 畑	齊尾 川	花松 福
赤松 元	藤塚 畑	齊尾 川	花松 福

### 蚊・ハエ…の発生期

## 防除はこまめに、 薬剤はうすめて使用



いよいよ夏を迎え、衛生害虫  
(蚊、ハエ、ゴキブリ等)の発生  
する季節となりました。阿久根市  
では、衛生白粉会をつうじ、市内  
の各家庭に薬剤を配布し防除をお  
願ひしています。

防除日、配布方法については次  
のとおりですが、薬剤は必ずうす

めて使用されるように、原液で使  
用されても効果は薄いそうです。  
徹底した防除により、住みよい  
環境をつくりましょう。

#### 一斉防除日

前期は五月十日から十日毎に、  
八月十日まで、十回防除。後期は  
九月十日から十日毎に、十月二十

日まで五回防除。

#### 散布方法

一回分三十六cc(約2勺)を四  
百倍(約八升)にうすめて、シヨ  
ロ等によって散布してください。

#### 散布場所

○蚊・ハエは室内、天井、壁など  
に残留噴霧する。  
○ゴキブリ、ナンキン虫は、台所  
床、壁、柱など通路に散布。  
○ウジは、便池、ゴミ箱、たい肥  
商舎に散布。  
○ホーフラは、排水溝、水槽など  
水一につき薬剤十〜二十ccを

水でうすめて散布。

#### 事故防止

皮膚、飲食物、食器、子どもの  
おもちゃ、飼料等にかからないよ  
うに取り扱ってください。皮膚に  
ついたときは、石けんをよく洗い、  
目に入ったときは、すぐに流水で  
洗眼してください。万一間違って  
飲んだり、身体に異状が起こった  
場合は、すぐに薬剤が有機リン剤  
であることを医師に告げて、診療  
を受けてください。また、日光を  
さけ、火気には近づけないでく  
ださい。

「こめいふくを  
お祈りします」

- 下陳 マツ 63(大丸) 関律子
- 戸ゴト 89(大丸) 庄吉
- 猿島 芳蔵 77(佐湯) 重人
- 渡辺 ソノ 80(大丸) 美智子
- 窪川 昇 49(的場) 利孝
- 寺地 八次郎 78(尻無下) 賢七
- 原田 政雄 69(町) 耕一
- 牛之浜 ハマエ 42(牛之浜) 謙太郎
- 川原 ミズ子 57(川畑中) 勝
- 小川 ヒサ 55(上野) 正夫
- 有田 テル 78(尾崎) 宗南
- 川畑 シツエ 71(川畑中) 唯一
- 高津 センガメ 85(藤本浜) ハツミ

### 災害を受けた ときは

#### 税の減免手続きを

これから梅雨期に入りますが、  
この時期には、豪雨による被害が  
発生することがあります。  
風水害や震災、火災などによっ  
て大きな被害を受けた場合は、税  
金の面でもいろいろな救済措置が  
設けられています。  
もし、不幸にも災害にあわれた  
方は、一応、生活が落ち着かれて  
からでも被害のり事務又は市の  
税務相談室にお尋ねください。

# 「楽しかなア、光礁大学」

## 187人 歌や踊りなど勉強



楽しく学ぶお年寄り

昭和五十八年度、市の光礁大学の開講式が五月十三日、市民会館で行われ、受講を申し込まれた百八十七人のうち百二十人のお年寄りが出席、年間計画などを決め、一年間の勉強に入りました。

開講式では新学助役が「大学で仲間づくり、健康づくりに効み、大きな成果をあげてください」と激励しました。

光礁大学は、お年寄りの生きがいづくりと仲間づくりを目標に阿久根市が開いているもので、年々人気は上々、参加希望も多く、今年も文芸十三人、書道二十三人、踊り百二人、歌三十九人、大正舞に十八人、計百八十七人が申し込みました。

今後毎月一回、来年の三月まで

学習が続き、お年寄りは、この大学のある日を羨しみに待っているとのこと。

### 消費生活講座を開催

県消費生活センター

一回目、七月十五日、福本地区公民館で午後一時三十分から、講座「相談あれこれ」です。

二回目、九月中旬、三回目、十月を予定。

入場無料です。多数のおこしをお待ちしています。

### 毎月第三土曜日は「青少年健全育成の日」

母でアメや飲み物を配り、ドライパーに安全運転をお願いしました。

ドリンク作戦には阿久根警察署、交通安全協会、市も協力、二十人が出て、午後二時から午後四時まで二時間実施。下り方面の乗用車を主に一台一台止め、ガムやアメ、飲み物(ヤクルト)をプレゼント。

「ないごんなどびっくりするドライパーもありましたが、贈られた品にっこり。シートベルトを締めて安全運転に協力していました。

母でアメや飲み物を配り、ドライパーに安全運転をお願いしました。

六月は市県民税  
第一期の納期月  
納期内に納めて  
ください

### 税の知識

県や市の仕事は、私たちの日常生活に直接結びついた身近なものばかりですが、そのための資金となる地方税も多く、住民が負担することが望ましいわけです。

市県民税は、このような地方税の性質を最もよく表わしている税金で、住民税ともよばれています。

住民税は、税金を負担する能力のある人が均等の額によって負担する均等割と、その人の所得金額に応じて負担する所得割の二つからなっています。

また、住民税の納税義務者は、その市に住所があるか、ないかで異なりますが、その年の一月一日現在の状況で判断されます。

住民税の均等割の税率は、市民税が千円、県民税が五百円で計千五百円です。

税金について詳しくは、税務課におたずねください。

タバコは市内の  
お店で買いましょ

## 「希望の木」クス

### ライオンズ鶴見公園に贈る



クスを植える参加者

阿久根市が鶴見地区に建設中の、鶴見公園に、阿久根ライオンズクラブ(瀬川実会長)がクスの木を贈り、五月十日公園内で贈呈式が

### 母の会

### 「ドリンク」作戦

阿久根市交通安全母の会では五月十八日、折多小学校下の国道三



親子仲よく横断

## 親子仲よく ルールを勉強

阿小親子交通教室

春の交通安全  
全運動初日の  
五月十一日、  
阿久根小学校  
新一年生と父  
兄の交通教室  
が行われ、実  
際に横断歩道  
の渡り方を学  
びました。

新一年生百六十二人と父兄百二十人が参加。まず、講堂で交通ルール勉強、阿久根警察署交通課の木下秋生巡査と市の西田交通安全専門指導員が、横断歩道と道路の渡り方を信号機の模倣を使って指導。このあと、国道三号線平交差点で親子仲よく手をにぎり、渡っていました。

## 成人式は平服で

(59年完全実施)

## 短歌

青戸の木にゆふべ来りて人語めく  
抑揚に鳴き鶏去りたり

松永 政志

遠き日の愛憎のこと憶ひ出づ難な  
らざるもともに若かりき

橋崎 幸

かぐはしく藤の花房一つ一つ花の  
動くは蜂くぐるゆゑ

松永 光志

ちち母の旅先ならむバリ島を地球  
儀廻し孫は教へぬ

川畑 ヨツ

図書館だより

## 今月の新刊

▽誰も書かなかった法人税(藤城宏著)▽中年ぶとりが気になりだしたら読む本(中村治雄著)▽40十(一年かな)と思つたらすぐ読む本(長谷川和美著)▽図解40代からの新指圧(安部俊雄著)▽日本人は中国で何をしたか(平岡正明著)▽ママばくをまた生んでねー小児がんの記録(大野芳著)▽話し上手になる本(酒井広著)▽弁慶(村上陸郎著)▽それでも化粧したい貴女に(橋本田鶴子著)▽勝手にさせて(秋吉久美子著)▽こんなとき、こんな料理、こんなお菓子で(小林カツ代著)▽少年の旗(稲毛悦著)▽シャワールームの女(荒木一郎著)▽サラリマンよ悪意を捨て(赤川次郎著)▽女の花道(大江美智子著)

## 阿久根短歌会

肺病に手術不能と子の電話ききて  
声あげ妻の泣きいづ

磯瀬 紀夫



折田憲司 選

## あくねのみんな ⑱



### えびすさんは 借金持ち

美しい大川島海水浴場の側(びわ)の口島に、夫婦二人のえびすさんが仲良く漁村を見守っておられます。

このえびすさんには昔から面白い風習があって、毎年、年の瀬も近付くといつの間にか髪を剃し、年が明けて正月十日前になると再び髪を覆わすといわれます。



実は、えびすさんはたいそう借金持ちの神様といわれ、人間の世界と同様年の瀬が近付くと連日連夜借金取りに追い回されます。これでは漁民たちの豊漁のことなど考えられる暇もありません。日頃不安のない漁を得、時には大漁の恩恵を受けている漁民にとつては、えびすさんを借金取りからかくまうてやる事は当然のことです。

反面、えびすさんは義理堅いだろうから、借金取りから逃れ、正月三日をたっぶりごちそうになったお礼に、大漁を授けられるに違いない。そうした漁民の打算や願いから「来年はわが家にも豊漁を」と願う人が、こっそりえびすさんを自分の家に移して朝夕焼酎やごちそうを供え、十日までには元気に帰しておくというわけなんです。

このえびすさん移しは、人に見られないように行なうことが利益(へりやく)が大きいといわれ、昔から今日まで続いています。

また、えびすさん移しについては、よそのえびすさん(上手の漁のもの)を自分の家に迎えることも利益が大きいといわれます。

例年正月十日に行なわれる大川島のえびす講には「えびすさんは焼酎好き」ということから、一戸当り焼酎二本を持ち寄り、一本はえびすさんの像にかけ、残り焼酎で飲み明かす風習になっています。

# 7年も続く体力づくり

## 親子 レクリエーションできずな

隼人小PTA

市内の隼人小学校PTAでは、六年も前から、親子体力づくりに取り組み、レクリエーションや競技を通じ、親子のふれ合いが深められ、青少年の健全育成が図られています。

同校が六年前県の体力づくりの推進指定校になったのを機会に、地域にも広めよう、ということから始まり、毎月第三日曜日、朝六時三十分が「体力づくりの日」。

七年目の今年も、五月八日一回目が行われ、子どもや父兄、地区民ら七十人が体育館に詰めかけました。

年間の種目は、一回一回違い、

この日は案内レクリエーション。親子座って話をたたく「汽車ポッポ」や「たたき」、首での人文字づくり、ポロたたく、首での人文字づくり、ジャンケンゲームなど十六、



親子仲よく体力づくり

### 人命救助で感謝状

川畑さん、折口さん、牟田さん  
「先生の教え、実行」

阿久根警察署



阿久根警察署は、このほど、川でおぼれたところを助けあげた、市内折口東の会社員川畑澄広さん（写真左）と、折多小五年の折口律子さん（写真右）、同三年の牟田みどりさん（写真左）の三人を人命救助協力者として感謝状を贈りました。

四月二十四日、折口川下流の現場で遊んでいた律子さん、みどりさん、牟田正美ちゃん（四才）のうち、

体育館の中は楽しい親子の歓声でいっぱい。PTA保健部の山平マズエさんは「苦にならず、親子の体力づくりが行われています。今年

### 「よか嫁に」 ひな女まつり にぎわう

佐潟区

市内佐潟区に、昔から伝わる「ひな女まつり」が、今年も五月二十日（旧の四月八日）行われ、四人のひな女が区民に披露、一日中にぎわいました。

今年のひな女は、髪染マナミち

正美ちゃんが物を取ろうとして足をすべらせ海へ落ちました。律子さんは助けを求めて牟田区へ走り、みどりさんはおぼれて流される正美ちゃんに大声をかけた、救助のくるのを待ちました。近くで大声を聞きかけた澄広さんは、浮き沈みする正美ちゃんを見つめ、服のまま飛びこみ救助しました。

感謝状を受けた律子さんとみどりさんは「人がおぼれた時は、一人は救助に走り、一人は必ずおぼれた人を見てやるのよ、と先生から教わったことを実行したまじ」と喜びを話してくれました。

後は地区民総出の行事にしたい」とはりきっており、親子のきずなが培われているのが目に見えるようです。

ちゃん、福田奈織ちゃん、福田まい子ちゃん、眞崎朱子ちゃん四人。五月晴れに恵まれ、祭りが行われる港広場には区民が多せい詰めかけました。



にぎわった「ひな女まつり」

午後三時から祭りの始まり、晴れ着に飾り、薄化粧をしたひな女たちは、ハンヤ節に合わせ、祖母や祖父、区民らの背中におんぶされ、「よか嫁さん」と区民にたづぶり披露されました。

毎月第二月曜日は  
交通事故相談日

市民相談室

# 一年ぶり阿久根弁

近畿地区阿久根会総会

近畿地区阿久根会(田原克己会長、会員四百人)の第十五回総会は五月八日、兵庫県宝塚市の宝塚ファミリーランドで行われ、会員や家族連れなど二百五十人が出席。



にぎわう総会

## 市民のひろば

皆さんの回りで起きたニュース、話題など、なんでも結構です。広報係へお寄せください。☎1211内214

総会のあとは焼酎で親睦を図りました。

発足当時十六人だった会員も今では四百人に増え、総会も年々盛会となっています。

総会では、これまで会に功勞のあった大河渉氏、餅越清治氏、川畑隆氏の三人を表彰。阿久根からも川畑市長、梶尾議長、伊商工会事務所頭が出席。あいさつに立った川畑市長は市政報告のあと「阿久根出身者として頑張ってください」と激励しました。

総会のあとは、市制三十周年記念映画を見たり、焼酎を飲みながら親睦。会場は阿久根言葉が飛び、一年ぶりの再会に花が咲きました。

# ハイ！元気だよ！



浜田さやかちゃん(1歳11月) 市内大川井手下 浜田徳藏さんの三女

## 早水ツルさん106歳に

県下で3番、全国22番目



新伊助役から祝福を受ける早水さん

市内の桜ヶ丘に入園されている、早水ツルさんが五月二十日、百六歳の誕生日を迎え、入園者や新伊助役から祝福を受けました。早水さんは、明治十年五月二十日生まれ、耳が遠いほかは健康。食べ物も好き嫌いがなく、フルーツサラダが好物。新伊助役が「いつまでも長生きしてください」と、夏布団と果物を送りました。県下では徳之島の泉重千代さん(105)と附郡町の川田スエノさん(105)に次いで三番目の高齢者です。

## いこいの森までウォーキング

阿久根青年会議所

ふるさとを知り、体力づくり！

阿久根青年会議所が主催した、第一回「ウォーキング大会」が、五月八日阿久根中から市民いこいの森のコースで行われ、幼児から小学生、父兄、それに会員合わせ

て百四十人が参加。くん風薫るさわやかな天候のもと、往復二十、の体力づくりに頑張りました。



## メドレークラブ優勝

春季ソフト大会

春季ソフトボール大会は四月十四日から三十日まで、市の総合グラウンドで行われ五十、六百人参加、リングトーナメントで試合が進められ、決勝では三笠町農協とメドレークラブが対戦、六対二でメドレークラブが勝ち、優勝しました。二位三笠町農協、三位ジャガーズ、桐野でした。

## 「お菓子でも買って」初月給の一部

老人クラブに

瀬の浦上の早水さん

今年、阿久根農校を卒業、出水市の病院に勤務した、市内瀬之浦出身の早水春美さん(66)が、このほど、瀬之浦上老人クラブ(園川与志助会長)を訪れ、「初月給の一部ですが、例会のお菓子代にでもして」と、一万円を贈りました。

老人クラブでは、「今どき感心な娘さん。昔んなのため使います」と、思わぬ善意に大喜びでした。



行事催し物など  
とこととお寄せ下さい

③12111内214

お知らせ



国民年金

保険料免除の  
手続きは早めに

国民年金の保険料は一月月五千八百三十円ですが、生活が苦しく保険料を納めることができないときは、本人の申請により保険料が免除されます。

免除を受けると、免除された間の年金額は、本来の年金額の三分の一になりますが、保険料を納めることができないからといってそ

のまましていると、将来年金を受け取れなくなります。

免除された人が、その後生活に余裕ができたときは、十年前までさかのぼって当時の保険料で納めることができます。

詳しくは、市の国民年金係へおたずねください。

原子力発電所の  
見学会を実施

希望団体は申し込みを

市では、原子力発電施設や原子

力発電のしくみを知ってもらいために、原子力発電所への見学会を実施しています。

見学会の詳細は次のとおりです。

見学地	日程	人員	回数
佐賀県玄海町 玄海原子力発電所	1泊2日	23名	2回
玄海 原子力発電所及び 唐津火力発電所	2泊3日	25名	1回
愛媛県伊方町 伊方原子力発電所	2泊3日	7名	1回
〃	2泊3日	11名	1回

見学会に参加ご希望の団体は、市役所企画課③12111内253へ、申し込みください。但し、見学会の日程は日曜、祭日を除きます。

川を大切に

六月二十日まで河川愛護月間

するものです。

五月二十一日から六月二十日までを河川愛護月間と定めて、河川愛護運動が実施されています。

この運動は、住民の間に河川を大切に、きれいにする気運を育成し、住民自らが河川の愛護作業に参加することによって河川に対する認識を深めてもらい、河川の美化と住民の福利を増進しようと



運動の成果が十分あがるよう市民皆さんのご協力をお願いします。  
みんなの川、美しく

活かします

あなたの「意見」

電報電話局

「お客様、代表者会議」を設置

お客様、代表者会議に寄せられた、お客様の貴重なご意見、ご要望を電話局は真剣にお聴きします。

そして、地域の皆さまが電話局に求めているものを正しく受けとめ、サービスの改善や事業活動に生かし、地域とのふれ合いを深め地域社会の一員としてお役に立ちたいと考えています。

お客様代表者会議の委員は次の方々です。(敬称略)

- 若松光仁 川畑文平 小園康二
- 鎌桑茂 堀川直光 下藤泰平
- 田原岩雄 西田福七 浜崎宗人
- 山田昌恵

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。

- ありがとうございます。(敬称略)
- 高村忍(上野) 宇都新太郎(馬見塚)
- 佐淵イク(佐淵) 花田新太(柳)
- 渡辺美智子(大丸) 鶴岡末助(尻無上)
- 瀬川利孝(的場)

●広報送付お礼

埼玉県にお住いの川辺一美さん、と川崎市にお住いの上村直貴さん、東京都板橋区の的場義次さんよりご寄付をいただきました。ありがとうございます。

保母試験の案内

鹿児島会場(八月二十三日)二十六日、大島会場(八月二十二日)二十四日。試験科目は社会福祉事業一般、児童福祉事業概論、看護学及び実習、保育理論など。受験希望者は、七月十一日から七月二十三日まで受験申請書(鹿児島家庭課指定様式)を鹿児島家庭課へ提出すること。詳しくは回課へおたずねください。

給油所の  
日曜当番店

- 七月三日 落合石油 (協本)
- 十日 阿久根市農協(折口)
- 十七日 折口石油 (阿久根)
- 二十四日 田野農産 (阿久根)
- 三十一日 築瀬石油 (阿久根)
- 〃 阿久根市農協(大川)

不用犬引き取り

六月二十日、三十日 午前十時〜十時半  
場所 保健センター

昭和五十八年六月十日

鹿児島県阿久根市役所編集発行